

生活 いきいき豊かに

いい? 「集合住宅」

モデルづくり

計約千四百二十団地(二万七千戸)の都営住宅を管理する住宅局。「問題は集合住宅のベイト飼育が社会的に容認されているかどうか。まだまだ容認されていない」といっても、罰則がなければ意味がない」とみる。

昨年度、都営住宅のベイトで住宅局が改善指導したケースは十九件に上る。「ネコを十七、十八匹も飼う家のベランダからネコの毛が飛び、隣下の家では布団や洗濯物が干せない」「独り暮らしの老人が家の中にイ

物保護管理協会など十数団体が「集合住宅における動物飼育を考える協議会」を結成した。公園管理部は都がどんなルールを作り、指導するか見守るしかないが、今の状態ではベイト解禁は難しいと話している。

飼育マナーが重要。七十匹以上のネコやヤシと暮らすため東京のマンションから福島県に引っ越したフタメンコ舞踊家、長瀬ヤス子さんの話。これからはベイトとの共存の時代。ルール作りは賛成で、重要なのは飼い主の飼育マナーだと思ふ。

アニ
いま
は

低料金で不妊・去勢手術行います

「不幸な犬猫をなくすネットワーク」

犬、猫が捨てられるのをなくすネットワーク(東 術を行うキャンペーンを行っている。不幸な犬猫を 忘 は低料金で不妊去勢手術している。

首都圏の
45獣医院で

毎年、犬、猫合わせて約八十万頭が保健所に持ち込まれ、殺処分が動物実験に使われている。八割近くは子犬か子猫。不妊去勢手術をしてあげれば、これらを減らせるはず、と同ネットワーク

ークは首都圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)の四十五カ所の獣医院と提携、安い料金で手術を引き受けてもらう運動を行っている。

料金は犬の雌が一万五千円、雄が二万円、猫の雌が八千円、雄が一万円。手術希望者は犬猫の性別、頭数、氏名、住所、電話番号を書き、七十円切手をはった返信用封筒を同ネットワーク(03・338800・4455)には郵便料一泊の入院費、封して〒121東京都足立

区北郷吏局留、「不幸な犬猫をなくすネットワーク」へ申し込む。締め切りは十月末まで。申し込んだ人には後日、指定病院と手術券が郵送される。手術は来年度末までに行つて。問い合わせは同ネットワーク(03・338800・4455)。

私書箱
325

「かわいそうな捨て犬や捨て猫にも会いにくくありませぬ。飼いまは遊ばず手術をして」という千葉県印旛郡の小学生・大野美樹さん(一〇)の投書(先月二十五日付)に、「無責任な飼いまはに怒りを覚える」などの反響が寄せられた。

え、保健所に持ち込まれる数も増える。

捨て犬・猫減らす不妊手術

飼いまはの義務、認識を

から、年間千匹に対し一匹あたりの市が三万円、市獣医師会が二万円を助成しており、「当初は一万五千円、オス五千円、犬はメス一万五千円、オス二万円。毎年、動物愛護週間の際、前後に希望者を募り、病院

動物の保護及び管理に関する法律では、犬猫に子供が生まれても飼う人がいないとみられる場合、「飼いまは不妊手術等を行うよう努めなければならない」とな(公衆衛生法)。東京

組織する「不幸な犬猫をなくすネットワーク」(多田和恵代表。協力病院は四十五あり、料金は猫はメス一万円、オス五千円、犬はメス二万円、オス二万円。毎年、動物愛護週間の際、前後に希望者を募り、病院

(林 真奈美記者)

は東京、神奈川、埼玉など、の動物愛護団体で(問い合わせは044・988・9009)。

小さくとも命。すぐ死なせてしまうくらいなら生ま

「飼い合わせは044・988・9009」。